



金曜日は極寒の中のマラソン大会、お疲れ様でした。3年生が家庭学習期間に入り、学校も少し寂しくなりましたが、3年生は今、私立大学一般入試の真っ最中です。今日2月10日は、東洋大学、専修大学、中央大学など、本校でも人気の大学が入試日となっており、大勢の3年生が試験に臨みます。今頃、緊張でいっぱいだと思いますが、ぜひ全力を尽くして欲しいと思います。

① 【明日からの6連休。。。。どのように過ごしますか？】

明日から来週の日曜日まで、高校入試のために皆さんは6連休となり、部活動もありません。この期間に少し羽を伸ばして・・・などと考えている人もいるかもしれませんが、まとまった勉強をする絶好のチャンスです。特に2年生は1年後の入試までのタイムスケジュールを考えてみてください。このようにまとまった休みを取れるのは、以下の5回だけです。

今回の6連休・春休み12連休・GW5連休・夏休み42連休・冬休み14連休 ⇒ 入試

ぜひ、プレ春休みのつもりで、6日間のまとまった計画を立て、実行してみてください。

これから1年間の受験生活を通して皆さんが得るものは、志望大学への切符だけでなく、ある目標に向かって自分の学習方法・習慣や生活をどのように計画し、どのように管理し、どのようにコントロールするか、というセルフマネジメント能力(自己管理能力)です。そのためには、

- 具体的な目標を持つこと
- 意欲やモチベーションを保つこと
- 優先順位の把握
- 感情のコントロール
- 時間の管理
- 体調の管理

などが必要になります。それらを1年間維持し続けるのは簡単なことではありませんが、明日からの6連休のような短期間、試しに挑戦してみるなら、次第にその力が育っていきはずです。2年生にとって、受験生活への第一歩として、この6連休はとても大きな意味を持つ6日間です。

② 【2020年度入試(現3年):出願速報】

私立大学の一般入試志願者数がほぼ確定しつつあります。英語の民間検定試験と、共通テストの記述問題の導入が見送られたため、「安全志向」が変わるとの見方もありましたが、やはり予想どおり、難関大を敬遠し、より安全な大学を出願する傾向が強まったようです。

※以下の数値は、大学の公表値、大学通信、河合塾のデータからで、途中集計も含まれる。

- ①. センター利用入試では、難関大や女子大の志願者が減少している。
早稲田大(14%減)・明治大(14%減)・立教大(20%減)・青山学院大(21%減)
MARCHでは前年比83%、日東駒専では74%、首都圏女子14大学では73%
- ②. 一般入試でも、安全志向が強く、難関大の志願者は減少している。
早慶上理では前年比95%、MARCHでは96%、成成明國武では93%
早稲田大(4%減)・法政大(5%減)・明治大(5%減)・立教大(5%減)
学習院大(11%減)、特に、駒澤大、成城大、東洋大、は20%以上減少した。
- ③. 安全志向の強まりや、併願割引制度の充実で志願者が増えた大学は、
千葉商科大学(50%増)・拓殖大(41%増)・東京工科大(20%増)・関東学院大(19%増)
昨年大きく減らした日本大も9%の増加に転じた。

● 千葉県内の、過去 10 年間で倍率が大きく上昇した大学

千葉商科大学	倍率	2010年	1.7倍	⇒	2019年	6.9倍
江戸川大学	倍率	2010年	1.0倍	⇒	2019年	5.5倍
千葉経済大学	倍率	2010年	1.5倍	⇒	2019年	5.0倍
淑徳大学	倍率	2010年	1.7倍	⇒	2019年	3.4倍

- ④. 学部系統別では工・理工系が、センター利用 102%、一般方式は 103%とやや増加している。
首都圏理系 10 大学ではセンター利用が前年比 101%

※首都圏理系 10 大学とは：千葉工業大、北里大、工学院大、芝浦工業大、東京工科大
東京電機大、東京都市大、東京農業大、麻布大、神奈川工科大

- ⑤. 英語外部検定を利用した入試の出願は大幅に増加した。⇒ 本校でも大幅に増えました。
明治大 (107%増) ・早稲田大 (23%増) ・法政大 (21%増) ・中央大 (11%増)

● 受験生の安全志向により、安全圏と考えられていた大学の出願が増加し、難易度が上昇しています。本校でも今年すでに「押さえの大学に不合格だった」という報告を受けています。来年度の入試はどうなるのか？ 2年生は気になると思いますが、様々な情報に踊らされることなく、自分の第一目標を高く設定し、それに向けて最善を尽くす、今はその決意を固めてもらいたいと思います。

③ 【 専門学校進学について 】

千葉西高校では、ほとんどの生徒が 4 年制大学へ進学しますが、就職して公務員になったり、専門学校に進学したりする人もいますので、専門学校進学について少し触れてみたいと思います。

「専門学校」は「専修学校」のうち、専門課程を置く教育機関が称することのできる通称であり、高卒以上が入学資格となります。専門学校は、実践的な職業教育、専門的な技術教育を行い、職業能力の高い中堅専門技術者を短期間で育成する、という点で社会に貢献しています。進学する側としてもそれが魅力ではありますが、大学や短大との違いを良く理解しておく必要があります。

たとえば、看護師志望の場合

看護師の世界では基本的に実績や経験が評価されるため、仕事において学歴が影響することはあまりないと言われています。しかし同じ看護師を目指すにしても、大学の看護学科(4年)を卒業して看護師になるのか、専門学校で3年間学んで看護師になるのか、それぞれに利点や欠点があり、就職してからの姿も変わっていきます。

専門学校では、即戦力となる人材育成を目的としているため、初年度から看護実習を重視したカリキュラムが組まれ、資格取得を目標に必要な知識や実践的な技術を最短で身につけられます。時間割はタイトですが、安い学費で少しでも早く看護師としてひとり立ちしたい、という人に適しています。

大学では4年制のため余裕を持って学ぶことができます。学費はかかりますが、幅広い教養を学ぶことができ、看護師の他に助産師など関連した資格を在学中に取得できるなどのメリットがあります。

看護師に限らず、大学がいいのか、専門学校がいいのか、長期的な展望を持って比較・検討してください。学校見学会の甘い言葉に惑わされ、入学してから授業内容や設備、就職先などの現実を見てがっかりすることがないように、しっかりとした職業観を持って決めてもらいたいと思います。

千葉西高校 専修学校進学者数と主な分野 (過去 5 年間)

平成 31 年度 (33 期生)	男子 4 名	女子 25 名	看護系 8, 医療系 1, 理美容 4, 外国語 2
30 年度 (32 期生)	男子 5 名	女子 17 名	看護系 5, 医療系 2, 理美容 4, 製菓調理 2
29 年度 (31 期生)	男子 3 名	女子 23 名	看護系 3, 医療系 1, 理美容 3, 製菓調理 2
28 年度 (30 期生)	男子 2 名	女子 15 名	看護系 7, 医療系 2, 理美容 3, 電気電子 2
27 年度 (29 期生)	男子 4 名	女子 22 名	看護系 5, 医療系 5, 製菓調理 2, 理工学 2

